

本時のねらい

・今の大和川と昔の大和川を比較し、気づいたことや疑問点を共有することを通して、これからの学習の見通しをもつ。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・資料を画像として送信することで、拡大・縮小したり、資料に書き込みながら説明することができる。
・意見を共有することで、さまざまな考えに触れることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型モニター ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時の課題を知る。 「大和川のはてなを見つけよう。」 ・大和川の位置を確認する。 【写真1】	○大型モニターで大和川に関する動画を見せることで、具体的なイメージをもつことができる。
展開 (35分)	○今の大和川について資料をもとに調べる。 ○昔の大和川の資料と比較し、気づいたことや疑問点をノートに書き出す。 ・川がたくさんつながっている。・川が少なくなっている。 【写真2】 ○疑問点を共有して考えを全体で交流する。 ・なぜ川の方が変わったのだろう。 ・他の川はどうしてなくなったのだろう。	○教科書内の図や写真などの資料を画像としてロイロノートで送信することで、拡大縮小して並べたり、資料に書き込んだりすることができる。 ○提出箱から友だちの意見を見ることができる。
まとめ (5分)	○大和川について、これから調べたいことをタブレットを活用して共有する。 ・川の場所を変えた理由を知りたい。 ・どのように川を付け替えたのだろう。 【写真3】	○カードに書いて共有することで、児童全体の今後の学習課題づくりにつなげる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】ストリートビューで大和川を確認し、具体的なイメージを持たせている様子



【写真2】資料を比較し、気づいたことや疑問点を入力している様子



【写真3】これから調べたいことを大型モニターで映し、視覚的に共有しながら発表している様子

児童生徒の反応や変容

・動画を見せることで、川の大きさを実感できたり川周辺の特徴に気付いたりすることができていた。
・気付いたことや注目したところなどを資料に書き込むことで、意見交流の際により分かりやすく伝えようとしていた。
・端末上で全員の考えを見ることができるため、意欲的に意見交流する姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・疑問点について交流する際、その基となる資料に言葉を添えたり、複数の資料を比較しやすいように並べて伝えたりするようにさせた。そうすることで、資料を基に意見を述べることを意識する児童が増えた。
・端末上の資料を見て、気付いたことをノートに書かせることで、資料を見ながら考えをまとめさせることができた。